

# 別海町議会会議録

第1号(平成22年2月12日)

## 議事日程

- |       |         |                           |
|-------|---------|---------------------------|
| 日程第 1 |         | 会議録署名議員の指名                |
| 日程第 2 |         | 会期決定の件                    |
| 日程第 3 |         | 町長あいさつ及び提出案件の概要説明         |
| 日程第 4 | 議案第 2 号 | 平成21年度別海町一般会計補正予算(第6号)    |
| 日程第 5 | 同意第 1 号 | 別海町監査委員の選任につき同意を求めることについて |

## 会議に付した事件

- |       |         |                           |
|-------|---------|---------------------------|
| 日程第 1 |         | 会議録署名議員の指名                |
| 日程第 2 |         | 会期決定の件                    |
| 日程第 3 |         | 町長あいさつ及び提出案件の概要説明         |
| 日程第 4 | 議案第 2 号 | 平成21年度別海町一般会計補正予算(第6号)    |
| 日程第 5 | 同意第 1 号 | 別海町監査委員の選任につき同意を求めることについて |

## 出席議員(17名)

- |      |              |      |              |
|------|--------------|------|--------------|
| 1 番  | 西 原 浩        | 2 番  | 沓 澤 昌 廣      |
| 3 番  | 福 原 春 夫      | 4 番  | 安 部 政 博      |
| 5 番  | 瀧 川 榮 子      | 6 番  | 山 田 信        |
| 7 番  | 丹 羽 勝 夫      | 8 番  | 松 原 政 勝      |
| 9 番  | 戸 田 博 義      | 10 番 | 戸 田 憲 悦      |
| 11 番 | 中 村 忠 士      | 12 番 | 佐 藤 初 雄      |
| 13 番 | 池 田 幸 雄      | 15 番 | 山 崎 賢 一      |
| 16 番 | 佐々木 春 男      | 副議長  | 17 番 横 堀 昭 康 |
| 議 長  | 18 番 渡 邊 政 吉 |      |              |

## 欠席議員(1名)

- 14 番 安 田 輝 男

## 出席説明員

- |               |         |                   |         |
|---------------|---------|-------------------|---------|
| 町 長           | 水 沼 猛   | 副 町 長             | 磯 田 俊 夫 |
| 教 育 長         | 山 口 長 伸 | 総 務 部 長           | 小 守 正   |
| 福 祉 部 長       | 佐 竹 博   | 産 業 振 興 部 長       | 飯 島 孝 二 |
| 建 設 水 道 部 長   | 田 中 忠 敏 | 教 育 部 長           | 根 本 幸 三 |
| 会 計 管 理 者     | 秋 森 正 弘 | 病 院 事 務 長         | 真 籠 毅   |
| 福 祉 部 部 長 代 理 | 田 村 秀 男 | 産 業 振 興 部 部 長 代 理 | 中 村 保 彦 |

監査委員事務局長 半 田 雅 代  
 農業事務局長 千 葉 俊 文  
 総務課参事 大 島 登  
 財政課長 森 本 哲 男  
 福祉課長 笠 原 悦 雄  
 町民課長 斎 藤 英 彦  
 福祉課参事 清 尾 昌 弘  
 デイサービスセンター長 小 椋 忠 男  
 保健センター長 田 村 秀 男  
 環境特別推進室長 佐 藤 康 男  
 商工観光課長 中 村 保 彦  
 事業課長 天 田 豊  
 上下水道課長 光 延 章  
 病院事務課長 宮 部 正 好  
 学務課参事 今 井 道 春  
 社会体育課長 齊 藤 敏 幸  
 (総合スポーツセンター館長)

福祉部次長 守 川 昇  
 総務課長 松 本 光 永  
 総合政策課長 有 田 博 喜  
 税務課長 干 場 俊 昭  
 福祉部付課長 松 壽 和 広  
 保健課長 佐 藤 良 幸  
 特老施設長 村 井 勉  
 老健事務長 佐々木 論  
 農政課長 土 井 一 典  
 水産みどり課長 藤 原 繁 光  
 管理課長 木 村 功 男  
 事業課技術長 山 岸 英 一  
 (建築担当・病院建設準備担当)  
 出納室長 上 月 昭 彦  
 学務課長 佐 藤 英 敏  
 生涯学習課長 中 川 浩

議会事務局出席職員

事務局長 佐 藤 次 春

主 任 福 原 義 人

会議録署名議員

15番 山 崎 賢 一  
 17番 横 堀 昭 康

16番 佐々木 春 男

開会 午後 1時25分

#### 開会宣告

議長（渡邊政吉君） ただいまから、平成22年第2回別海町議会臨時会を開会いたします。

ただいま出席している議員は、17名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

なお、欠席議員は14番安田議員でございます。

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

議長（渡邊政吉君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において指名いたします。15番山崎議員、16番佐々木議員、17番横堀議員、以上3名を指名いたします。

#### 日程第2 会期決定の件

議長（渡邊政吉君） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

この臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

#### 日程第3 町長あいさつ及び提出案件の概要説明

議長（渡邊政吉君） 日程第3 町長から、あいさつ並びに提出案件の概要について説明があります。

町長。

町長（水沼 猛君） 皆さん、こんにちは。

本日、平成22年第2回別海町議会臨時会を招集させていただいたところでありますが、議員各位におかれましては何かと御多用の中、御出席をいただきましてまことにありがとうございます。

それでは、早速でございますが、本日、提案させていただきました議案2件について、概要を説明させていただきます。

まず、議案第2号ですが、平成21年度別海町一般会計補正予算（第6号）でございます。

今回の補正につきましては、国の2次補正予算に盛り込まれました地域活性化・きめ細かな臨時交付金の事業実施に速やかに対応するための町の予算を確保するためのものでございます。あわせて、底を尽きました除雪予算の増額を行うものでございます。

財源といたしましては、国からの交付金と財政調整基金からの取り崩しによる対応を予定しております。歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億1,000万円を追加し、予算総額を152億530万円とするものでございます。

次に、同意第1号でございますが、別海町監査委員の選任につき同意を求めることにつ

いてでございます。

本件につきましては、現在、2名の監査委員を選任しておりますが、その中で鈴木英世さんが平成22年3月12日で任期満了となりますことから、このたび、再任をいたしたく議会の同意を求めるものでございます。

以上、提案させていただきました議案についての概要説明とさせていただきます。ぜひ、速やかに御審議を賜り、御決定を賜りますことを心からお願いをいたしまして、提案理由の概要の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

議長（渡邊政吉君） ここで、お諮りいたします。

本臨時会に提案されております議案第2号及び同意第1号については、会議規則第39条第3項の規定に基づき、委員会の付託は省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、本臨時会に提案されております議案第2号及び同意第1号については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

#### 日程第4 議案第2号

議長（渡邊政吉君） 日程第4 議案第2号平成21年度別海町一般会計補正予算を議題といたします。

内容について説明を求めます。

財政課長。

財政課長（森本哲男君） 議案第2号の内容説明を申し上げます。

平成21年度別海町一般会計補正予算（第6号）でございますが、先ほどの町長からの概要説明のとおり、国の2次補正予算に伴う緊急経済対策に迅速に対応するため、町の予算を確保し、地域の活性化に資するきめ細かなインフラ整備を進めようとする地域活性化・きめ細かな臨時交付金と除雪業務委託料の補正が主なものでございます。

最初に、臨時交付金の事業概要につきまして、別冊の予算資料で説明させていただきたいと思いますので、お手元に配付しております予算資料の5ページをお開きください。こちらが平成21年度事業費調べになります。

きめ細かな臨時交付金事業は、「明日の安心と成長のための緊急経済対策」の趣旨に沿ったきめ細かなインフラ整備事業を行うため、地方公共団体が策定した実施計画に基づく事業に要する費用に対し、国が交付金を交付してくれるというもので、本町へは1億7,657万1,000円が交付される見込みとなっております。このようなことから、この制度に対応すべく、2段目の地域会館等整備事業ほか12事業を計画し、国に提出しているところであります。

その内容につきましては、2段目、地域会館等整備事業で4,330万円、事業内容といたしましては、上風連地域センター、本別海地域センターにつきましては外壁補修及び屋根塗装、高丘会館ほか3施設につきましては外壁補修を行うものです。

次に、ケアハウス設備整備事業で121万5,000円、こちらはケアハウスみどり野に厨房用エアコンディショナーを設置するものです。

ふれあいキャンプ場施設改修事業で650万8,000円、別海ふれあいキャンプ場野外トイレ外壁補修、尾岱沼ふれあいキャンプ場トイレ、水飲み場補修等を行うものです。

別海町温泉交流施設配管等補修事業で3,500万円、町で貸し付けしております温泉交流施設の老朽配管改修を行うものです。

野付半島ネイチャーセンター改修事業で232万5,000円、センター内トイレ臭気対策、休息所トイレ外壁等改修を行うものです。

イベント用大型テント補修事業で286万7,000円、産業祭等で利用しているテント骨組み鉄材の防錆塗装補修を行うものです。

町道橋梁補修事業で4,500万円、町道中春別線いこい橋、町道中春別線春絵橋の補修を行うものです。

町道整備事業で1,693万7,000円、尾岱沼岬町中央通線の改良舗装工事を行うものです。

小学校校舎等改修事業で5,768万7,000円、中春別小学校図書室等増設、上風連小学校屋根改修、別海中央小学校体育館屋根改修の各事業を行うものです。

次に、6ページをお開きください。

ファミリースポーツハウス改修事業で980万円、床丹ファミリースポーツハウス屋根改修、別海ファミリースポーツハウス外壁補修工事を行うものです。

町営陸上競技場改修事業で450万円、進入路舗装等改修工事を行うものです。

町営パークゴルフ場クラブハウス補修事業で330万円、外壁等の老朽化に伴う補修、塗装工事を行うものです。

中央公民館改修事業で156万1,000円、トイレ改修、館内修繕等を行うものです。

今回の臨時交付金事業の事業費合計で2億3,000万円となります。

以上で、事業の概要についての説明を終わらせていただき、補正予算の内容説明に入りたいと思いますので、別冊の一般会計補正予算書の1ページをお開き願います。

平成21年度別海町一般会計補正予算（第6号）。

平成21年度別海町一般会計の補正予算（第6号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億1,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ152億530万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。

第2条、繰越明許費の補正。繰越明許費の追加は、第2表繰越明許費補正による。

第3条、債務負担行為の補正。債務負担行為の追加は、第3表債務負担行為補正による。

次に、2ページをお開きください。第1表歳入歳出予算補正です。

まず、歳入です。14款国庫支出金、2項で1億7,657万1,000円の増、18款繰入金、1項で1億3,340万円の増、20款諸収入、5項で2万9,000円の増。歳入合計で3億1,000万円を増額し、歳入予算の総額を152億530万円とするものです。

歳出です。2款総務費、1項で2億3,000万円の増、8款土木費、2項で8,000万円の増。歳出合計で3億1,000万円を増額し、歳出予算の総額を152億530万円とするものです。

次に、3ページになります。第2表繰越明許費補正です。

今回の補正予算に定める繰越明許費は13件、合計金額は2億3,000万円です。い

ずれも地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業で、年度内に支出が終わらないので、翌年度に繰り越して使用することができるよう予算で定めるものです。

事業ごとの金額の説明は省略させていただきまして、次に4ページです。第3表債務負担行為補正です。

今回の補正1件につきましては、追加で畜産経営維持緊急支援資金利子補給補助金、期間は平成22年度から平成46年度までの25年間、限度額は9,455万円です。内容としましては、道東あさひ農協、中春別農協、計根別農協が融資を行った畜産経営維持緊急支援資金について、年2.95%の利率のうち、道0.12%、町0.06%、合わせて0.18%の利子補給を行うものでございます。

次の歳入歳出予算補正事項別明細書の1の総括の説明は省略し、7ページから説明させていただきます。

2の歳入です。款項の金額は省略し、目の金額で説明いたします。

14款国庫支出金、2項1目総務費国庫補助金1億7,657万1,000円の増で、地域活性化・きめ細かな臨時交付金です。

18款繰入金、1項1目財政調整基金繰入金1億3,340万円の増、この繰り入れにより予算上の財政調整基金の現在高は10億137万1,000円が見込まれます。

20款諸収入、5項5目雑入2万9,000円の増、調整分でございます。

次に、9ページでございます。3の歳出です。

2款総務費、1項17目地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業2億3,000万円の増、本目新設で臨時交付金事業を計上しております。委託料につきましては、町道整備事業の各委託料でございます。施設・設備等工事請負費につきましては、ケアハウス整備事業、小学校校舎等改修事業、別海町温泉交流施設補修事業の工事請負費分です。道路改良工事請負費につきましては、町道整備事業分でございます。それ以外の事業につきましては、補修等工事請負費に一本になってございます。道路改良工事補償金につきましては、町道整備事業の水道移設分でございます。

次に、10ページです。8款土木費、2項2目道路維持費8,000万円の増、除雪費の増額でございます。

以上で、議案第2号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第2号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

12番佐藤議員。

12番（佐藤初雄君） 今、事務方から説明がございました補正の関係ですけれども、何点かお聞きしたいと思います。

温泉交流施設ですか、配管、民間活力を利用して福祉向上に役立てるというようなことで民間に移行されまして、これはもう少し詳しくお願いしたいなと思います。ということは、老朽の配管、建設というか、建物の中の改修かなと思いますけれども、その辺をもう少し詳しく。

それともう1点、小学校の増改築ですか、の中で、ここに3点ほど載りまして、中春別小学校の図書館ですか、これは。増設事業が載せられているわけですがけれども、私から申すまでもなく、中春別の学校は統廃合の中で、豊原、美原さんの小学校が今度一緒になりましたので、そういったことで新校舎の建設というのですか、そういうことも将来は考えていかなければならない。恐らく地域からは要望が上がっているとは思いますが、

そういった絡みで図書館の今の増設ですか、これは新設ではないので、そこら辺の将来の構想というのですか、学校全体の施設の。そこら辺の絡みなんかも検討された中でなっているのか、それはまたその都度、その年度に来たときに考えていくのか、そこら辺の絡みがもしありますればお知らせをいただきたいなと思います。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 産業振興部部長代理。

産業振興部部長代理（中村保彦君） 今、佐藤議員が御質問になりました別海町交流センターの補修事業の内容でございますけれども、配管工事ということでございます。実は、配管の修繕につきまして、業者の方から常に点検をしてもらったりしているわけですが、床下の配管の状況を見ますと、ガス管だとか水道管だとか排水管とかが入っているわけですが、非常に湿気が多い状態だということで中を見ていただいております。その折に出てまいりましたのが、かなりさび等も見えるということで、点検が必要であろうということでの御進言をいただいております。

その中で、構造上の問題で全部のところを見切れないところもございます、その中で調査等をしながら必要なものについては改修、修理等が必要であるというようなことで、そのための予算として床下の配管、それから排水の部分でも一部あふれてくるようなところがございまして、その部分についても民間に移って営業を始めてから出てきたことでございますが、事前にその部分を察知できなかったということもございまして、これはこちらの瑕疵に当たる部分でないかというようなことから予算を上げさせていただきました。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） 教育長。

教育長（山口長伸君） ただいまの御質問ですけれども、別海町には小学校9校、中学校9校あります。合わせて18校。その中で、今お尋ねの中春別小学校ですが、それよりも古い学校がまだ四、五校残っております。具体的には、上春別中学校、中春別中学校、上風連小学校、中西別小学校等です。そういう順番からいきますと、例えば1年に1校ずつ建てても18年かかる計算になります。まだ中春別小学校は、それらの学校に比べて新しいですので、そういう順番からいきますと、まだまだ新校舎の造成は後になるのではないかと思います。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 7番丹羽議員。

7番（丹羽勝夫君） 今の質問に関連するのですけれども、交流館の配管関係の金額等なのですけれども、今お聞きしますと、古くなったので調査も兼ねてやるという調査費も含めてというような考え方なのか。あと、昨年、メタンガスが出て、今年3月までそれを改修しなければならないということを、今の答弁の中では出てきませんけれども、その辺も含めた工事があるのか。

あと、今まで町でやられていたときに、温水ポンプなんかは2年間か3年間に1回取りかえていますけれども、200万円から300万円かけてやっていると思うのですけれども、その辺も含めた金額も含まれて計算されている数字なのか、お聞きしたいと思います。

議長（渡邊政吉君） 産業振興部部長代理。

産業振興部部長代理（中村保彦君） ただいま御質問ございました丹羽議員の御質問に対してお答え申し上げます。

配管工事の費用の中には、メタンガスの除去の費用は入ってございません。これにつきましては、先回の補修の中で予算をいただきまして、現在、進行中でございますので、3月までには工事を完了するということになってございます。

それから、御質問ございました温水ポンプの取りかえの件ですけれども、これについてもこの内容には含まれてございません。床下配管修繕の部分で、建物の構造上、入れるところが極めて限られておりまして、あと、ほかのところも調べなければならないのですが、中に入っていった作業をするということが困難な構造になってございます。コンクリートの壁で囲まれていて、その次の部屋に移っていくということが難しいというようなことがございまして、そういった意味でかなり調査にも手間がかかっているということで、この額を請求として出させていただいております。その中で、見ながら修繕をしていくということで、大まかでございますけれども、業者の方のお話の中での有る程度の金額という中で上げさせてもらってございます。

以上でございます。（発言する者あり）

これにつきましては、調査費込みの補正でございます。

議長（渡邊政吉君） 7番丹羽議員。

7番（丹羽勝夫君） そうしますと、これは昨年度、契約の中で賃貸となって貸したわけですけれども、その後に判明したということで考えてよろしいのでしょうか。

議長（渡邊政吉君） 産業振興部部長代理。

産業振興部部長代理（中村保彦君） お答えいたします。

丹羽議員のおっしゃるとおり、その後に判明したものでございます。

議長（渡邊政吉君） 11番中村議員。

11番（中村忠士君） 二、三点質問したいと思っておりますけれども、1点目は、今、お二人ほど質問されたのですけれども、それに関連しての質問になります。一つは、今の御答弁の中で、調査と必要な補修という、種類で言うと2種類の費用ということになるのかと思うのですが、調査に幾らかかる予定なのか、そして補修に幾らかかる予定なのか、その内訳、どういう計算をされているのかということをお聞きしたい。

それから、以前の話ですと、温水ポンプに関連する部分は町の責任だと、だからこの点は町が責任を持って補修なりをします。しかし、それ以外については町が責任を持たないというのが、前の御答弁ではなかったかなというふうに記憶しているのです。そういう点からいって整合性がないというふうに思うのですけれども、その点はどうかという点です。

それから、別の問題になりますけれども、これは総額2億3,000万円、きめ細かな臨時交付金ですけれども、2億3,000万円の事業になっています。これが地域経済にどういう影響を与えるのか。好影響を与えるというのは当然だというふうに思うのですけれども、地元業者さんがどの程度の発注といいますか、業者からすれば受注ということになるのですけれども、どの程度の受注率になるか、どういうふうに考えておられるかという点。

それから、若干意見が入りますけれども、できるだけ地元の業者さんに発注が行くように配慮すべきだというふうに私は思うのですけれども、それも一部の業者に偏ってはならないのではないかなというふうに思うのです。そこら辺を町としてはどういうふうに考えておられるか、地域全体に2億3,000万円の事業が公平に、しかも透明に、透明性を持って行き渡るということが大事だろうと思うのですが、その点でどういうふうに考え



ておられるかというのが2点目です。

それから、3点目なのですが、全体的な問題として、地域経済にとって今大事なのは、雇用の確保だとか、雇用の拡大につながっていく、そういう事業が必要だというふうに思うのですが、今回は交付金そのものの性格からいってハード面に使いなさいというように性格づけられているようなので、そこら辺は限界があるなというふうには思うのですが、雇用の拡大・確保の面でこの交付金についてどういうふうと考えられたのかという、その配慮の跡と申しますか、そういうところに配慮がされているのかどうか、そして、もしそこで不十分あるいは限界があるということでありましたら、今後どういうふうにその点を考えていくかという点についても、お考えを聞かせていただければというふうに思います。

以上、3点です。

議長（渡邊政吉君） 産業振興部部長代理。

産業振興部部長代理（中村保彦君） 今御質問のありました中村議員の御質問についてお答え申し上げます。

まず最初に、補修費及び修繕調査費の内訳という点でございますけれども、実はこの点につきまして点検をしていただいている業者の方たちの見ていただいている中で、危険な状態が指摘されて、危険というわけかもしれませんが、調査が必要だという状況が示されました。その中で具体的にどの程度まで改善が必要なのか等、調査をしながらでないとわからないということでございます。建物の構造上の問題で、中に十分に入って調査ができないという構造がありますので、そのところを見ながら、その様子を確認しなければならぬという作業がございますので、それを含めてでの費用として計上させていただきながらこれを点検し、そして、それに対しての修繕等をかけていくということで予算の計上をさせていただいております。

それから、二つ目の点でございますけれども、温泉施設の温水ポンプの部分と申しますか、温泉の水を上げるための施設に関して町が責任を持つという意味での御発言かと思いますが、そういう話については確かにそういうふうにお聞きしてございますが、このものにつきましては築20年近くたつ建物という中で、まだ見えない部分もございます。また、十分にしているつもりではございますけれども、はっきりと出てこないところもございますし、経過とともに出てくる問題等もございます。ただ、この問題に関しましては、建物の機能全体と申しますか、構造全体に関する問題ということをお考えとするならば、貸している側の責任ということも含めて考えるべきではないかという点で、貸す側のもの、本来の構造的なものという部分に含むということで、貸す側も責任があるのではないかという判断のもとに、こちらについては予算を上げさせていただいたという点でございます。

以上、御質問の1点と2点目についてでございます。

議長（渡邊政吉君） 総務部長。

総務部長（小守 正君） 御質問にお答えいたしたいと思っております。

まず、地域活性化・きめ細かな臨時交付金でございますが、昨年12月8日に閣議決定されております。ことし1月28日に予算が成立いたしまして、全国で5,000億円決定されております。このうち、今回、4,500億円について1次交付限度額が設定され、本町の限度見込み額が1億7,657万1,000円ということで予定されたところでございます。

この交付金の使途につきましては、市町村において策定される計画、これは既に計画を策定して、今回、補正予算に計上させていただいておりますが、これで実施される危険な橋梁の整備、景観保全の必要の高い地域における電線の地中化や都市部の緑化、森林における路網整備などの緊急経済対策の趣旨に沿ったきめ細やかなインフラ整備事業で、平成22年1月1日以降に地方自治体、地方公共団体の予算に計上される事業に限るというものでございます。このうち、国庫補助事業に対象事業がありまして、国庫補助事業につきましては公債発行対象経費、法令に補助負担率の定めがあるものを除く、これは法律で補助率が決まっているものについては対象外ということになります。

このほかに地方単独事業が対象となっております。地方単独事業につきましては、橋梁の補修、電線の地中化、都市部の緑化、森林の路網の整備、最初はこういう定めだったのですが、実際に要綱が定められた時点で、その他公共施設または公用施設の建設または修繕に係る事業、これが対象となっております。

また、この事業につきましては、地域経済の活性化あるいは地域の雇用促進に資するきめ細やかなインフラ整備等の速やか、かつ、着実な実施を図ることを主眼として策定するということになっておりまして、町といたしましても、このたび、設計委託料、一部設計委託料の一部を除く工事費につきましては、地元の企業、こちらは建築関係あるいは土木関係、そして温泉施設の管工事等もそうでございますが、これらの受注が地元ですべてできるような事業ということで、今回、予算で計上させていただきました全23事業、こちらを実施計画として策定し、既に国のほうに計画書を提出しているところでございます。

地元の企業が元気になるということになりますと、当然、雇用の対策にもなるかということで町としては考えているところでございます。具体的な雇用促進の事業ということになっておりますので、そういう事業の立ち上げではありませんので、あくまでもそういう町単独事業の実施によって地域での雇用が生まれればということで、計画を策定するときも考えましたけれども、直接雇用ということでの事業立ち上げが難しいということもありまして、修繕に重点を置いた事業等について拾い上げて計画を策定したところでございます。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 11番中村議員。

11番（中村忠士君） 1点目の温泉施設の問題ですけれども、3,500万円という事業費になっているのですが、お聞きをすると、その内訳がいま一つはっきりしないように思います。私は、調査費にどのぐらいのお金がかかるのか、そして補修費にどのぐらいのお金がかかるのか、それは計画上3,500万円という数字を出すわけですから、それはそれで内訳があるのだらうと思ってお聞きをしたら、調査してみなければわからないという、そういう御返答でしたから、内訳が必ずしもはっきりしていないのかなという感じが極めて濃くするのですね。そういう思いを強くします。こういう言葉がいいかどうかはわかりませんが、何か御答弁を聞いている限りは、つかみ金で3,500万円ぐらい要るだらうという、そういうように聞こえるのです。もうちょっと内訳をはっきりさせてもらわないと、そこは納得できる話ではないなというふうに思います。

調査してみないとわからないと言うわけだから、3,500万円をすべて調査費になるのかどうか、そこら辺を含めて、もう一度明確にお聞きをしたいというふうに思います。

それから、私の聞いたことに対して明確な御答弁がなかったのもう一度お聞きしますけれども、前の議会での町当局の答弁は、温水ポンプについては町が責任を持つけど、

それ以外は責任を持たないのだという、冷たい言い方をすると、そういう言い方をしていたのですよ。必要だったら、これは議事録を精査していただきたい。必要だったら、そこまでやっていただきたいというふうに思うのですけれども、そうだったのではないかな。今回の提案は、そのことと整合性がとれないのではないかなというふうに私は御答弁を求めたわけですよ。その点での明確な答弁というのはなかったと思います。

調べて、必要な経費が出てきたのだから、今回、手当てをするということになれば、また、次の機会、次の機会に、次々にこういう補修というのは出していかねばならないのかなというふうなことに、答弁を聞いている限りではそういうふうになってしまう。それでは非常に大きな問題ではないかなというふうに私は思うので、そこら辺をもう一度明確に答弁していただければというふうに思います。

それから、地域経済に対する影響という問題で、これは非常に期待されるところだと思います。今後、具体化して、地域の経済の潤いに波及してくるというふうに確信しているのですけれども、そういう点では、そういう方向になるように一生懸命考えられたというふうに思いますし、今の御答弁を聞いていて、そうなのだなというふうに思うわけですが、答弁の中に、一部の業者に偏ることなく発注が広く行き渡る、地域全体に波及効果があるようにという点でどういうふうに配慮されたのかということについては、お答えがなかったような気がしますので、その点をもう一度お聞きします。

それともう1点、今回はそういうことで交付金そのものに制限がありますから限界があるということだけでも、直接的な雇用というのがなかなかないかないという性格になっているから、それは仕方ない面があるのですけれども、今後、その点ではどういうふうにされるかということで、もう1回お聞きします。

議長（渡邊政吉君） 産業振興部部長。

産業振興部部長（飯島孝二君） 今の中村議員の質問にお答えしたいと思います。

非常に配水管等の補修については、3,500万円となっていますけれども、一つは、これは三つに分かれておりまして、一つは地下配管の大きいのが3,000万円程度というアバウトで出しています。もう一つは、今、放流している温泉水の排水管が、非常にやっている中であふれるということで、漏れるということもありますので、そのあふれる部分の排水をひとつやらずにちゃんない、これが約260万円程度あります。それと、特殊建築物に今の交流施設はそういうふうになっておりますので、特定施設ということで毎年特定建築物の調査をして、どうなのだというのがあります。これは、本年度調査されました、その中に基本的な部分、外壁だとかそういったところの、今後修繕が必要であるというような指摘を受けました。そういったことについては、これは根幹をなす、町の施設を貸すという中では根幹をなす基本的な構築物ということで、その部分で230万円ほどをやりたいと。あとの残った3,000万円を、先ほどから説明しております地下配管の修理をするのだと。

これにつきましては、先ほど、いろいろ調べているとかなんとかといういろいろな話がありますけれども、今、地下を見てもわかるように、カビが生えたのが経年変化といいますが、腐食したり、地下の状況がどうだったのかというのもあるのでしょうか、そういう面で20年近くたつということもありまして、地下のほうは腐食が進んでいる。ガス管だとか給水管、排水管、いろいろなものが入っています。そういう面では、危険性が及ぶような配管もあるということで、我々としては、これは根幹をなす施設だということで、町でやらざるを得ないだろうというふうに思っていますけれども、ただ、これの設計

だとかをどういふうにするというのがまだ出ておりません。

ただ、今、地下をそのまま配管をしちゃうのか、それとも、地下でなくて見える場所で配管をし直したらいいのか、その工法も考えていかなきゃならないということで、この予算はつけていただきましたら、直ちにそういった工法も含めて、冬場は当然できませんので、雪が解けた後、そういったものの検討をしながら、どういう配管のほうが将来的にいいのか、そういった検討も含めて、移設するのか、あるいは、地下をそのまま交換するのか、それも含めてやりたいなというふうに思っていますので、そういう面では繰越明許費ということで繰り越しさせていただきまして、その辺をやっていきたいということで、非常に先ほどから言っているとおり、配管の仕方にも、お金のかかる部分、かからないのできる部分とありますので、我々としては多く金をかければいいのかという問題でないで、予算は今のところアバウトで提案していますけれども、今後、さらにそういったことを考えて、もっといい方法がないのか、もう少し時間をかけながら雪が解けてからそういった工事をしていこうという考えでございますので、決して大変中身の設計ができていないということはありませんけれども、この辺をよく調べてからできればいいのですけれども、ちょうどこういうお金が出てきたということもありまして、毎年ちょろちょろとやるよりも、一気にそういったおそれのあるようなところは一気に対処していききたいというような考えで提案をさせていただいたところでございます。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 郊楽苑の配管の改修については、今、部長が述べたとおりですが、議員各位も御承知のとおり、極めて構造的にも、そういう配管を含めて、そういう構造自体が大変難しい、一般の普通に建てるのであれば、なかなかそういうような複雑な、極めて修理の難しいような建物というのはなかなかつくらないものですが、極めて構造上も難しいということが、現実的にあの施設にあるわけでありまして。したがって、一部分については、配管の状況を見ることもなかなか難しいというような、そういう状況もありますので、なかなか実際にはわからなかったというのが実情であります。

しかしながら、いずれあの施設についても、そういう構造の関係から大々的な改修をしなければならないというような計画も、以前に立てたことがあります。したがって、有る程度調査をしていけば、そういうことは考えられたかもしれませんが、ここ何年かの中では、なかなかその実態というものが確実にわからなかったということでありますので、その修理に対しては最終的に幾ら幾らと確定はできませんが、何とかこの辺でできるのではないかとということを見積もっての予算だということを、工事費だということをぜひ御理解をいただきたいと思えます。

また、雇用対策ですが、先ほど部長が説明したとおり、町内の業者の方でほとんどできるという工事を選んだところであります。そして、すべての人に行き渡るといふ、それがもちろん望ましいかもしれませんが、公明正大な入札制度というものを我々も執行していかなければなりません。したがって、そこは町内の指名業者の皆さん、そして入札に参加される皆さんが正当な競争の上、受注されるものだろうと。そういうことでございますので、我々としては、すべての皆さんに行き渡るといふ配慮、そこはできませんので、そこは正当な入札の結果、決まるということであります。

以上であります。（発言する者あり）

答弁漏れがありました。

これからの雇用対策ですが、もちろん雇用を、公共事業を含めて雇用の場となっておりますが、これから公共事業も削減が見込まれるところでありますし、そのようなことになろうかと思いますので、その辺は十分、今後、２２年度予算で雇用対策も含めて検討して、最終的なそういう雇用対策も含めた予算になるものと、今、鋭意予算編成をしているところであります。

議長（渡邊政吉君） １１番中村議員。

１１番（中村忠士君） しつこいようですけれども、まだ御答弁を聞いていない部分があるのです。それは何かというと、以前の答弁と今回の提案の整合性がとれていないのではないかというふうにお聞きをしたが、その点については述べられておりませんので、その点についてお答えいただきたいのですがね。

もう１点加えると、今後、こういうことが続いていくのだろうかという不安がつきまとうわけですね。その点で、何というか、問題が出てくるたびに、根幹にかかわる問題だというふうな言葉をつければ、すべて町の責任になるという、こういうことなのかどうかということもきちっと確認しておきたいのですね。これ以上支出というものはかなわないのではないかと私は思うのですけれども、いかがなものでしょうか。

議長（渡邊政吉君） 中村議員にお尋ねしますが、これは以前の答弁を議事録精査等の必要性もあるかもしれない。中村議員の記憶では、例えば町当局が答えたか、あるいは産業振興部とやったか、その辺は確かですか。

１１番（中村忠士君） 私の記憶では、総務部長のお話だったかなというふうに記憶しているのですが。

議長（渡邊政吉君） それで、本人が確認したのなら。

そうしたら、総務部長からその件について。

総務部長（小守 正君） 大変申しわけありません。

私のほうから答弁させていただいた内容につきましては、ポンプの施設あるいは施設までの配管の部分、当然、地下に埋設してありますので、その部分、それと水道のポンプと水道の管の施設ということでお答えをしたということで記憶しております。

契約の中につきましては、施設の修繕等につきましては双方で協議して実施することも可能だということになっておりまして、前回の部分では、当然、地下の床下に沈んでおりました配管の部分、確認できない部分もありました。そういうことで、今回、２次補正の関係でそういう修繕工事も可能だということもありますので、地元の業者さんの受注機会の拡大というか、そういう部分も配慮しまして、制度に乗させていただいたということでございます。（発言する者あり）

議長（渡邊政吉君） 議長からですが、私が答弁前に申し上げたように、今のような質問内容ですと、正確なお答えをするためには、言った言わないの問題がありまして、ひょっとしたら議事録の精査が必要かなと。総務部長が答えたということは中村議員が申されたので、答弁漏れについては今回でなければだめですか。（発言する者あり）

産業振興部部长。

産業振興部部长（飯島孝二君） 大変申しわけございません。我々のほうの答弁の調整がうまくいっていませんでしたけれども。

今、中村議員が言われた、先ほど総務部長から言われたとおり、基本はそういうことで当初やっておりますけれども、先ほど総務部長が言いましたけれども、細部については協議ということになっていきますので、そういう面でいろんなことがいっぱい、民間が使うよ

うになってからいろいろな面でありまして、また、施設も20年近くたっているということで、いろいろなことがあります。それについては、それほど大きくないものについては、全部民間の方がやっておりますけれども、ただ、今回のようなこういう問題が起きると我々も思っていませんでしたので、地下のそういった状況がよく見えなかった。ただ、目視できる部分については、ある程度やってきましたけれども。

ただ、基本としては、受託している民間の方が当然やっていただくというのが基本として持っています。ですから、今までも大分お任せしているのと直してはおりますけれども、ただ、そういった貸すほうのところが責任を持たなくてはならない部分もあるというふうに思いますので、今後においても基本はそういった基本でいきますけれども、やはりこれは内容をよく精査して、協議して、向こうができるもの、こっちがしなくていいもの、いろいろございますので、それは一切やりませんということにはならないでしょうし、また、貸すほうとしても、どっちに起因するものかというのもしっかりと見ていかなくちゃならないと思いますので、今後も絶対こうしますとは言えません。それは、基本としては今のような基本でいきたいというふうには思っていますけれども、それはあくまでもどういうものが出てくるかというのは、我々も想像できない部分がございます。なるべく町としては、かかわらないようにしていきたいなというふうに我々のほうは思っていますけれども、今後はそれは協議次第ということで御答弁にかえさせていただきたいと思います。

議長（渡邊政吉君） ほかに質問ございますか。

9 番 戸田議員。

9 番（戸田博義君） 予算資料の一番最後のページでございますけれども、お聞きしたいと思いますけれども、床丹ファミリースポーツハウスの屋根の改修でございましてけれども、これは何年か前に雨漏りしたということでもやっております。そこで、今回の改修するというのは、屋根を全部はがして新しいトタンでつくるのか、また、一部北側なら北側部分、その部分の改修であるのか。

言ってみれば、ちょうど浜のすぐそばに建っておりますし、塩害ということもあるわけですね。その中では、多分、使うトタンも塩ビのいいやつで考えているのではないかと、こんなふうにいるわけでございますけれども、現地の床丹の人方の話を聞きますと、どうもカモメ対策も、浜ではゴメと言っているのですけれども、カモメ対策も必要ではないかなと。あそこへ行ってみると、カモメが白ですけども、真っ白だけいつもとまっているというような。大概、カモメのふんなんかは、車についた場合でも、何日もほっておくと、車の色が変わるというぐらい、そういう強烈なものなので、塩害対策とその面は考えられておられるのかどうか。その二つについてお聞きしたいと思います。

議長（渡邊政吉君） 教育部長。

教育部長（根本幸三君） お答えをいたします。

床丹のファミリースポーツハウスにつきましては、今お話が出ましたように、たしか4回目ぐらいの改修になるかと思います。最初の改修のときに塩害対策を主に考えたということでありまして、普通のトタンに皮膜がかかっていてさびないようにしようということで実施しておりました。年数がたちまして、その抑えた部分がだんだん広がってきたということで、皮膜がされているもので、なかなか修理で締めても締まらないという状況が続いてきた中で、その次にされたのが、今度、そのあいたところに目地材を入れるということで、それからカモメが来るようになったというふうに聞いております。その後によっ

たのが、カモメよけのピアノ線を張って現在に至っているわけですが、それにつきましてもゴメがそれでも来るということで、目地が取られてということ、今回、全部はがしてやろうという計画でもありますけれども、いろいろ検討の結果、経費もかさばることも含めて、全体にかぶせる形でやるという基本の計画で計画をしております。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 4番安部議員。

4番（安部政博君） 2点お聞きいたします。

まず1点目ですが、今の交付金事業の中で地域会館とか学校の整備がありますけれども、どこにどのぐらい見積もっているのかという、今ここで説明されても書き写しできませんので、できれば資料があれば請求したいなというふうに考えます。それが1点目です。

2点目ですが、除雪費なのですが、ことし1月の新聞報道で、中標津町と別海町は除雪費が底を尽きそうだと、別海町は1億700万円見ているが、それがこの雪で1月6日、7日ころの雪だったと思いますけれども底を尽きそうで2月に補正をすると、そういう報道があったのですが、それを踏まえて、この除雪費委託料8,000万円、1億700万円に足さなければならないのか、その辺。除雪費として、全体としてどのぐらいになるのか、幾らになるのかという点と、現在までどのぐらいの除雪費がかかっているか、その2点についてお願いします。

議長（渡邊政吉君） 議長から4番安部議員にお尋ねします。

各地域会館別とか学校別の予算の明細をできるかということだけでも、この臨時会ですれとなれば、口頭ではできるがということですが、それでよろしいですか。

4番（安部政博君） 口頭で聞いても書き写せないの、今とは言いません。後ほど提出いただければというふうに思います。舌足らずで申しわけありません。

議長（渡邊政吉君） きょう、本日のことですか。

4番（安部政博君） いや、きょうでなくてもよろしいです。ただ、数字を示していただきたい。

議長（渡邊政吉君） 会議終了後ということ結構ですか。

4番（安部政博君） 結構です。

議長（渡邊政吉君） もう一度、議長からお尋ねします。

安部議員の質問は、今回の補正に載ってきた、例えば地域会館別とか学校別の明細ですね。（発言する者あり）

ただいま、安部議員より今回の補正に関する資料の要求がありましたので、ここでお諮りをいたします。

本資料を要求することに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、本会議終了後ということでした承をいただきましたので、資料要求することは可決されました。

建設水道部長。

建設水道部長（田中忠敏君） 安部議員さんの質問にお答えをしたいと思います。

除雪費の関係なのですが、新年度当初予算で2,000万円の予算をつけておりました。9月の補正で8,718万円の補正をさせていただきました。今現在の予算とい

たしましては、1億718万円というふうになっております。今回、補正をさせていただきます8,000万円、これを入れまして総額では1億8,718万円ということになるのかと思います。

それで、実際に除雪の経費でございますけれども、今月の3日現在で集計をしたものがございます。これで集計いたしますと、9,405万1,931円ということになりまして、2月3日現在ですけれども、1,312万8,000円ということになっております。実は、3日以後にも除雪出動をしております。その集計がまだできておりませんけれども、大体数百万円出ておりますので、実際には1,000万円以下の残額しかないということでございます。

議長（渡邊政吉君） 5番瀧川議員。

5番（瀧川榮子君） 済みません。前に戻りまして郊楽苑のことについてお聞きしたいのですけれども、郊楽苑のことについては町民が再開を望んでいて、そして署名運動などして再開したということで、町民がとても喜んでいて、それは大変うれしいことだと思います。ですけれども、今回、3,500万円、補正で予算が上がったということで、きょうの御説明では、今後も話し合いによっては補正というか、予算の中にこうした金額が出てくる可能性があるということなのですね。それで、住民側としては、最初に話されていて、町の責任はここまでですというようなことがあったので、今回、こういうふうなことがあって、少しどうなっているのだろうということになってくると思うのです。そして、私たちが住民側に説明するときに、それではその根拠というのですか、契約書の内容がどんなふうになっているのかというのは私は全く知らないのですけれども、こういう修理とか補修とかということについて、契約書の内容というのはどのようにして取り交わされているのか、その辺のところをお聞きしたいと思います。

議長（渡邊政吉君） 総務部長。

総務部長（小守 正君） お答えをいたします。

契約の内容につきましては、ただいま予算の関係でお話が進んでいるところでございますけれども、契約につきましてはこの予算が決定後、今の郊楽苑の部分につきましては、これから細かい設計をする形になります。（発言する者あり）

賃貸契約の関係ですか。賃貸契約は、そのまま……。（発言する者あり）

賃貸契約の内容でございますか。大変申しわけありません。今、手持ちにありませんのでお答えはできませんけれども、少し時間をいただければと思います。

議長（渡邊政吉君） 瀧川議員に申し上げます。

瀧川議員の質問で、賃貸契約書そのものということになれば、今持ち合わせがないようなので、ここで10分間休憩いたします。

午後 2時35分 休憩

午後 2時45分 再開

議長（渡邊政吉君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

それでは、瀧川議員から質問のあったことについて答弁をさせます。

総務部長。

総務部長（小守 正君） 大変失礼をいたしました。町有財産貸付賃貸契約書の内容について御説明をさせていただきたいと思います。

貸付人別海町（以下「甲」という。）と借受人株式会社郊楽苑（以下「乙」という。）



とは、甲の所有する物件町有財産の賃貸借について次のとおり契約する。

第1条、信義誠実の義務でございます。甲乙両者は、信義を重んじ誠実に本契約を履行しなければならない。

貸付条件で、賃貸借物件でございます。

第2条、賃貸借物件は、下記のとおりとするということで、土地、建物、その他ということであってございます。

第3条、使用の目的でございます。乙は、この賃貸借物件を温泉入浴、宿泊、レストラン及び関連する事業の用に供さなければならない。

第4条、賃貸借期間。賃貸借期間は、平成21年8月1日から平成26年3月31日とし、契約期間が満了する2カ月前までに甲または乙より解約の意思表示がないときは、本契約は1年間延長されるものとし、以後、例年、毎年この例による。

第5条、貸付料。貸付料は、年額168万円とする。ただし、平成21年度は、112万円とする。

2項、年度中途において本契約を解除するときは、1年を12カ月とした月割計算によるものとする。

第3項、前項の計算額に円未満の端数が出たときは、これを切り捨てるものとする。

第6条、貸付料の支払い。乙は、前条の貸付料を、月額にあっては毎月末に、年額の場合はその年度末までに甲の請求により支払うものとする。

2項、甲は、乙が甲の発行する納入通知により記載された納入期限内に貸付料を納入しないときは、納入期限の翌日から納入の日まで、未納額に対し1年当たり10.95%の割合で計算した延納利息を徴収することができる。

7条、貸付料の改定。甲は、貸付物件の価格が著しく変動したとき、甲が賃貸借物件に特別の費用を負担することになったとき、その他正当な事由があるときは、貸付料を改定することができる。

転貸等の禁止。第8条の転貸等の禁止でございます。乙は、賃貸借物件を甲の許可なく転貸し、もしくはその権利を継承させ、または担保に供してはならない。

第9条、経費の負担。乙の使用する物件の維持補修及び保全のため通常必要とする経費は、乙の負担とし、本物件の公租公課は、甲の負担とする。

第10条、使用上の制限。乙は、賃貸借物件について常に善良なる管理をし、維持保全に努めるものとする。

2項、乙は、賃貸借期間中、賃貸借物件を第3条に規定する用途以外の用途に供してはならない。ただし、甲の承認を得た場合は、この限りでない。

3項、乙は、使用物件の現状変更その他の行為をしようとするときは、事前に書面をもって甲の承諾を得なければならない。この場合、甲は、その諾否を乙に対し書面をもって通知するものとする。

第11条、契約解除。甲は、次の各号のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

1号、乙がこの契約に違背したとき。

2号、乙がこの契約の解除を申し出たとき。

3号、甲が公用または公共用に使用する必要が生じたとき。

第12条、原状回復。甲が第11条によりこの契約を解除したとき、または賃貸借期間が満了したときは、乙は、自己の負担において甲の指定する期日までに賃貸借物件を原状

に回復して返還しなければならない。ただし、甲の承認を得た場合は、この限りでない。

2 項、乙が前項に規定する原状回復の義務を履行しないときは、甲は乙にかわって原状回復を行うことができる。この場合において、原状回復に要した費用は、乙が負担するものとし、乙は何らの異議を申し立てることはできない。

第 13 条、損害賠償。乙は、乙の責に帰する事由により使用物件の全部または一部を滅失または毀損したときは、当該滅失または毀損による損害金を甲に支払わなければならない。

2 項、乙は、本物件の使用に当たって第三者に損害を与えたとき、またはこの契約に違反し甲に損害を与えたときは、その損害の責を負わなければならない。

3 項、前 2 項に規定する損害の額は、甲乙協議して定めるものとする。

第 14 条、有益費等の請求権の放棄。この契約の解除が行われた場合において、乙は、使用物件に投じた改良のための有益費及びその他の費用を甲に請求しないものとする。

第 15 条、疑義の決定。本契約に関し疑義が生じたときには、甲乙協議の上、決定する。

第 16 条、裁判管轄。本契約に関する訴えは、別海町の所在地を管轄地域とする釧路地方裁判所とする。

この契約の締結を証するため、本契約書を 2 通作成し、両者押印の上、各自その 1 通を保有する。

平成 21 年 7 月 27 日。

甲、野付郡別海町別海常盤町 280 番地、別海町長水沼猛。

乙、野付郡別海町別海 141 番地 100、株式会社郊楽苑代表取締役藤代幹良。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） 5 番瀧川議員。

5 番（瀧川榮子君） 済みません。いつものことなのですが、長い条文を聞いていましてもなかなか聞き逃すところが多いですので、資料請求をしたいのですが、それはできるでしょうか。ぜひお願いしたいと思います。

それと、今回、3,500 万円ということになりますと、今まで町が郊楽苑に補助金のような形で支払っていたのに本当に近いような金額が出ることになります。借り手のほうとしても、かなりの建築年数がたっているものを、たとえ安い金額であるとはいえ、維持補修していくということは大変だと思うのですが、その中でルールがどんなふうになっているのかというのを、議員もしっかりと内容を見ていく必要もあると思いますので、資料請求をお願いします。

議長（渡邊政吉君） 瀧川議員にお尋ねします。

資料要求がありましたが、賃貸契約書の写しのような資料を要求するのですか。例えば、要求するという場合、いつまでといいますか、期間、期限。（発言する者あり）

暫時休憩いたします。

午後 2 時 55 分 休憩

午後 3 時 05 分 再開

議長（渡邊政吉君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

休憩前、瀧川議員から資料要求がございました。ここで、議長から瀧川議員に確認をいたします。

もう一度、申しわけないですが、資料要求の中身なのですが、既に契約が成立して現在行っているわけで、契約書そのものでなくて、内容は変わらないのですが、契約に至るまでの案、内容は同じなのですが、案を資料として要求することによってよろしいかを確認いたします。

5番（瀧川榮子君） 案ということになりますと、あくまでも案ということで、印鑑が押していないので、責任の所在というのがはっきりしないということがあるのですけれども、案と実際のものが一字一句間違いないということでしたら、案で結構です。

議長（渡邊政吉君） 今、議運の委員長、それから私どもで町側とそのことについて協議いたしました。いわゆる両者の判を押したというのは、なかなか議会に資料として提出するのはなじまないという部分もございますので、内容そのものは同じものです。一字一句変わらないものでございます。それでよろしいですか。（発言する者あり）

それでは、お諮りをいたします。

ただいま、瀧川議員より資料の要求がございました。ここでお諮りいたします。

本資料を要求することに、議員の皆さんは御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、資料要求することは可決されました。

ここで、時間がかかりますので、暫時休憩いたします。

午後 3時06分 休憩

午後 3時10分 再開

議長（渡邊政吉君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

ただいま、要求のありました資料がお手元に配付されたと思いますが、瀧川議員、よろしいですか。（発言する者あり）

それでは、ほかに御質問ございますか。

10番戸田議員。

10番（戸田憲悦君） 先ほどから郊楽苑の施設の改修問題として大変紛糾いたしまして時間もないわけでございますけれども、まず1点目は、郊楽苑の改修のことについて、契約は契約として、当然、双方善意履行しなければならぬということになるわけでございますけれども、基本的には町の福祉施設といえますか、町民の福利厚生のための施設としての位置づけで、賃貸、貸与というようなことで事業遂行ということに落ちついたはずなのですが、契約段階のときに確認したことは、今後、施設の改修等々が出てきたときに、どこまで面倒を見るのだと、町が関与するのだということが一番の課題、話題になったわけでございます。そのときに、契約に基づく事項の中では、大変あいまいな表現になっていると。なぜかという、双方協議の上ということは、どこまで協議なのだ、ということになっていくわけです。

町の福祉目的の施設として、民間を活用した中でスムーズに町民のために運営されるならば、町の負担もやむを得ないのかなと。これから出てくる老朽化施設の改修にはやむを得ないのなかと私は思います。しかしながら、それがエスカレートしていったら、どんどん改修費がかかってくる状態になったときに、双方協議が決裂して、私は撤退します、そういうようなこともあり得るわけです。放棄しなければならない状態になる、事業遂行はできませんよと。

まさに今、大変採算が厳しくて、入浴料の値上げと、これに踏み切ったと。内容を聞いてみますと、1人入浴するために1,000円かかるのだと、500円の赤字だと。これは、全く経営上、問題の事項なのだろうと思います。すべて入浴に転嫁してしまうような経営方式では、これは先行き見込みがない。私は、何となくそういうふうな予感をするわけでございます。そのときに、こういう改修費、修繕費、今までわからなかった部分が突発的に出てきて事業遂行ができないとなったときに、町はどこまでやるのだと。

今回は、3,500万円のいわゆる修繕費、改修費を計上していますので、これでもってすべてクリアできるのかなと思いますけれども、これは皆さんが御指摘のとおり、ちょっとつかみかなと、ちょっと不透明な部分があるなど。どこまでが調査費で、どこまで改修すればいいのかと。それこそ3,500万円といいますと、施設の状況から見て大改修ですね。これは、修繕とかなんとかの状態ではないですね。大改修になるわけですよ。そうしますと、賃貸契約する以前に、その準備の段階のときに施設の点検補修といたしますか、調査をしっかりと、そのときにすべてがクリアできるような状態にして賃貸すると、これが基本でなかったのではないかなと、そう私は思います。

今後、このことが原因で事業撤退するという状態になったときに、町はどのように考えるか。これは、想定しておかなければならないことではないのかなと私は思います。そのときに、大事な福祉の施設が、また経営困難に陥り、また経営する者もいなくなるとなったときに、どう対処するのか。この辺がちょっと心配なことでございます。

基本的にこれからの対策事項、今回の改修事項も含めて、今後、どのような考え方で基本的に対応していくのか、ひとつお答えいただければと思います。

この件についてはこの程度にしますけれども、次に、先ほど安部議員の資料要求がありましたけれども、地域会館というのが地域地域に相当な数があるわけでございますけれども、何かの機会に、たしか地域会館の数だとか名称だとかというのは資料をいただいたことがあったかもしれません。そんなことがあったかもしれませんが、地域会館の数と老朽化した建築年度といたしますか、このことも後ほどよろしいですから、資料をいただければと思います。よろしいでしょうか。

それと、この件数から見て、金額でいきますと平均して1件700万円ぐらいの壁の修繕だとか屋根の修繕とか、こういうことが載っておりますけれども、もう少し改修の内容を御説明願いたいと思います。

次に、3点目、ネイチャーセンターのトイレの臭気問題、これはようやく気がついていただいたということで、大変ありがたいことだなと思いますね。別海町の観光の拠点ネイチャーセンターでございますけれども、かなり以前から臭気問題が発生していたのだそうでございます。先般の議会での地域視察のときに、かなりいい香りが漂ってありましたけれども、そのときに皆さんにようやく気づいていただいたということで取り上げていただいたわけでございますけれども、全国から野付半島で自然の景観、自然の資源を、花、鳥を観察に来る方々がネイチャーセンターに入って、大変日本一の香りがしたということで、回顧等々がされるのではないかという大変危惧したわけでございますけれども、これは取り上げていただいて改修できるということは、大変ありがたいことです。

しかしながら、予算の状況を見ますと、そんな大きな金額でもないわけでございますけれども、どこをどのようにして臭気対策をされるのか、もう少し詳しくひとつ御説明いただきたいと思います。

それから4点目、尾岱沼の岬町の道路改修でございますけれども、これは相当長年お願

いしていた経緯もあったようでございますが、予算の金額から見ますと、1,600万円でございますが、道路の構造と、改修舗装ということになっておりますけれども、これはどこまでどのような道路になるのか、ひとつその辺についてももう少し詳しい説明をいただきたいなと思います。

以上です。この4点について、ひとつよろしく願いいたします。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） まず、1点目の郊楽苑の配管の補修についてお答えを申し上げたいと思いますが、いずれにいたしましても、通常の範囲内、通常のものといいますが、いわゆる借りられる方も、それぞれ状況というのも、十分見られるところはちゃんと見たということでありまして、その辺のことについては、通常のものについては契約の内容も、そういうものについては我々は負担を負わないということになっていきますし、したがって、それ以外のもの、例えば今回のようなもの、なかなか当初ははっきり言ってわからなかった。そういうものについては、それがなければまたその施設というものは維持もできませんし、使用することもできないという状況になりかねないと。そういうことの根幹をなすものについては、それぞれの状況に応じて、やらなければならない部分はやらなければならない。

そういうことでございますので、今回、そういうことで最初から予想されるような調査をしてから渡すべきではなかったかということもありますが、そこもその当時、将来的に見た場合はいろいろ考えられたと思いますが、そういう中でなかなか調査をとことんといいますか、はっきりその中を調査するというのも、あの状況の中ではなかなかできなかったという部分もありますので、改めて今、それ以後にわかったということでありますので、ぜひ御理解をいただきたいと、そのように思っております。

残余については、担当のほうから説明をさせます。

議長（渡邊政吉君） 財政課長。

財政課長（森本哲男君） それでは、ただいまの御質問にお答えいたします。会館関係の改修工事の内訳ということでございます。

光進の会館につきましては外壁補修で650万円、本別会館につきましては外壁の補修、屋根塗装で800万円、北矢臼別会館につきましては外壁補修で350万円、高丘会館につきましては外壁補修で330万円、それから上風連の地域センターにつきましては外壁の改修、それから屋根の塗装で1,100万円、本別海地域センター改修工事につきましては外壁の補修で1,100万円、会館・地域センター関係で4,330万円を計上させていただいております。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 産業振興部部長代理。

産業振興部部長代理（中村保彦君） 戸田議員が御質問になった3点目のところでございます。

ネイチャーセンターのトイレの改修工事についてでございますが、先ほど御指摘ございましたように、ネイチャーセンターのトイレが非常に臭いということで、その対策が考えられたわけでございますが、地域の特性上、簡易トイレしかつくれないというのがあの地域の特徴でございます。基本的に水洗にして海に流すというようなこととか、そういったことができない地域でもあるということでございますので、簡易トイレでもって対応してございました。そのため、大変臭気がしていたということがあつたわけでございますが、基

本的にその臭気の中にこもってくるというようなことを防ぐということができるのかなということで、臭気対策といたしまして休息所のトイレの便器、和式の部分を洋式に取りかえることによって、中に水管が入りますので、そこで直接便槽からの臭気が上がってこない、そのようなトイレに取りかえていくというのがございます。

それからもう一つは、風の吹き込みによって中に入ってくるというようなこともございますので、それについては強制換気をかけることによって圧をかけていくということで、外にそれを出していくという方式が一つございます。そういった形によってにおいを防ぐという案が立てられてございます。

ですから、洋式の便器取りかえと排水管の改修、これが80万円、それから臭気対策のほうで強制換気のほう費用23万円等がでございます。そういったもので、もろもろで23万5,000円という費用になっております。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） 事業課長。

事業課長（天田 豊君） それでは、4点目についてお答えいたします。

今後、調査設計を行いますので、詳細については申し上げられませんが、基本的な構造についてお話しいたします。

延長については約140メートル、車道幅員につきましては4メートルになります。車道幅員といいますのは、白線の内々の幅員になります。それと、今予定しておりますのは、両側に縁石がついて排水を処理するという構造を考えております。この場合には、縁石の内側で5メートル50、これは3種5級という道路の構造でありまして、最低限の構造という形になります。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 答弁漏れがございましたので、答弁をつけ加えさせていただきますが、ただいま賃貸契約をしている業者の方が撤退した、やめたという場合にどうするかということでございますが、今始まったばかりでございますので、そういうことは余り考えたくございませんが、しかし、そういう中で、もしそういうことになった場合を想定すると、今までのような改めて賃貸の契約者を募集するか、または町として指定管理者を置いて、施設の維持を含めてそれは町がやっていく、そしてその運営は指定管理者にやっていただく、そういう方法か、それ以外としては閉鎖か、そのぐらいが今考えるところかなと、そのように思います。

議長（渡邊政吉君） 先ほど、戸田議員から地域会館の数あるいは建設年次等々に関する資料の要求がございました。ここで、議員各位にお諮りいたします。

本資料を要求することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、資料要求することは、可決されました。

後ほど、会議終了後に配付をいたしたい旨、お伝えいたします。

10番戸田議員。

10番（戸田憲悦君） 大変詳しい御答弁をいただき、ありがとうございました。

ただいま町長から、いわゆる撤退したときはどうなるのだということについてのお答えがございましたけれども、まずもって町と今の事業を展開されている方とは大家とたな子

の関係にあるわけですね。施設を賃貸で提供している場合には、どうしても大家の責任が大きいわけです。基本的に事業を遂行できないような施設の欠陥が出たときには、これは撤退せざるを得ないと。多額な費用がかかるから、そういうことになるのだらうと思いますけれども、その点は善意な相互管理のもとに事業を遂行していただくための大家の配慮といえますか、そのことが必要なのではないかなと私は思いますので、その点はひとつスムーズな運営管理ができるような御配慮をしてあげること町責任なのかなと、そういうふうに思うわけでございます。このことについてのお答えは要りませんが、そのような感じ方を持っております。

先ほど、中村部長代理がお答えになりましたネイチャーセンターの臭気の問題ですけれども、何となくそれで本当に解決ができるのかどうかというのは、ちょっと疑問点もございますけれども、ひとつ対策を万全に講じていただいて、別海町の顔ににおいが漂うようなことのないような対策を講じていただければと思います。

以上です。

議長（渡邊政吉君） ほかに御質問のある方はいらっしゃいますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、これで質疑を終わります。

これから、討論に入ります。討論はございますか。

11番中村議員。

11番（中村忠士君） 最初にお断りしておきますが、賛成討論です。何かどうしても意見を言いたいということがありますので、ただいまから申し上げます。

温泉施設の設備補修について、町側の答弁に私としては大きな違いがあるというふうに考えて、重大な問題を感じます。しかし、町民が必要としている温泉施設でもあり、現に老朽化のため補修が必要である点も理解できますので、補正予算には賛成します。しかし、今後の問題として、施設の維持補修に関する町の基本方針、基本姿勢、そういうものを明確にした上、具体的な規定をつくることとともに、このような問題が生じた場合、事前に議会に対してしっかり説明することを怠らないようにすべきであるという意見を申し添えて、賛成討論とします。

以上です。

議長（渡邊政吉君） ほかに討論はございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、これで討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第5 同意第1号

議長（渡邊政吉君） 日程第5 同意第1号別海町監査委員の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

町長。

町長（水沼 猛君） 同意第 1 号の提案理由を御説明申し上げます。

本町の監査委員につきましては、現在、お二人の方をお願いをいたしているところですが、平成 22 年 3 月 12 日をもって任期満了となります鈴木英世委員につきまして、引き続き任命いたしたく議会の同意を求めるものでございます。

鈴木英世さんにつきましては、皆様、既に御存じのとおり、厚岸町役場の助役に就任されておられた経歴を持っております。地方行政に精通された方でございます。

住所は別海町別海常盤町 149 番地、生年月日は昭和 20 年 9 月 7 日で、現在、代表監査委員として御活躍をいただいているところございまして、本町の監査委員として最適任者であると考えているところでございます。

なお、新たな任期につきましては、平成 22 年 3 月 13 日から平成 26 年 3 月 12 日までの 4 年間でございますが、御審議の上、御同意を賜りますようよろしくお願いを申し上げます、提案の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

議長（渡邊政吉君） 同意第 1 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、同意第 1 号は、原案のとおり同意することに決定いたしました。

#### 閉会宣告

議長（渡邊政吉君） 以上をもって、本臨時会に付議されました案件の審議はすべて終了いたしました。

これにて、平成 22 年第 2 回別海町議会臨時会を閉会いたします。

閉会 午後 3 時 50 分

#### 町長あいさつ

議長（渡邊政吉君） 町長あいさつ。

町長（水沼 猛君） 本日は、提出議案の 2 件について熱心な御議論をいただきまして御決定を賜りましたことに、まずもって心から感謝を申し上げたいと思います。

今後とも、先ほどの議論がありました補修につきましても、なるべく議員各位にわかっていただけるような説明というものを今後ともしっかり果たしてまいりたい、そのように思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ここで、時間をいただきまして、3 点ほど報告をさせていただきたいと思います。

まず、1 点目につきましては、職員の起こした酒気帯び運転に対する逮捕についてでございますが、既に報道等で御承知のことと思いますが、去る 1 月 23 日土曜日ですが、午前 2 時 25 分ごろ、町職員囑託の方ですが、酒気帯び運転により逮捕されました。



3年前の福岡市職員の飲酒運転による痛ましい死亡事故もありまして、飲酒運転撲滅の意識が高まる中にありまして、このような事態が起きてしまいました。町職員の飲酒運転はもつてのほかでもございます。交通安全運動に町民挙げて取り組んでいるところでもありまして、町職員が率先して励行すべきであるにもかかわらずこのような事態が起きてしまったことは、まことに遺憾であり、とても残念なことであります。

このたびの職員の不祥事に対しまして、議員並びに町民の皆様には深くおわびを申し上げますとともに、今後、別海町と町職員に対する信頼の回復と再発防止に向けて全力を尽くしてまいりたいと考えております。まことに申しわけございませんでした。

なお、この職員に対しましては、停職1カ月の処分を行い、4月以降の任用は行わないことといたしましたので、御報告を申し上げます。

次に、沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散実施についてでございますが、平成22年度における米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散実施について、防衛省から1月29日付で通知がございました。

本年の訓練計画は、第1回目は矢臼別演習場で、期間については平成22年5月中旬から6月中旬、第2回が東富士でございまして、平成22年9月上旬から10月上旬、第3回が大城寺原で平成22年11月上旬から12月上旬、第4回が日出生台で平成23年1月中旬から2月中旬、以上の4回を予定しておりまして、訓練の具体的な日程等につきましては、今後、日米間において調整を行い、決定されるというものでございます。

詳しい内容につきましては、通知があり次第、町民の皆様方には改めて町のホームページやファクス等でお知らせをしたいと考えております。

次に、町立別海病院の医師確保の状況についてですが、札幌医科大学から外科医として派遣され、平成17年4月から4年間勤務をしていただきました曾ヶ端副院長が本年3月いっぱいで退職することになりました。

曾ヶ端副院長には、患者さんや医療スタッフからの人望も厚く、また、外科医として技術的にも大変すぐれ、高度な手術もこなされておりましたが、御自身の医療技術を高めたいという希望から、専門の麻酔医や外科医がそろっております道立紋別病院に移られることになりました。大変残念ではございますが、やむを得ないことと判断をいたしております。

なお、後任の外科医につきましては、4月から河合義人先生が着任することになりました。

河合先生につきましては、関西医科大学を卒業され、大阪市立十三市民病院、島根大学医学部などを経まして、現在、広島県にありますエイアイジー・スター生命保険会社医務部に勤務されておまして、年齢は59歳でございます。

河合先生は、日本プライマリ・ケア学会の認定医を取得していたこともありまして、いわゆる総合診療医、家庭医といった幅の広い診療を行いたいとの一念から、全国自治体病院協議会からの紹介で本町を訪れまして、御決定をいただいたところでございます。

河合先生については、眼科、産科の専門医、麻酔科の標榜医を取得していたこともあり、別海病院におきましては外科、眼科医として勤務していただくことで進めております。

なお、今後の外科診療の対応といたしましては、外科医についても釧路市等の拠点病院への集約化、高度化が進められておまして、高度な手術等を伴うハイリスクの患者につきましては、安全性等を考慮し、外科医や麻酔医といった医療スタッフがそろった拠点病

院との連携を図り、治療等を行うことといたしておりますので、御理解を賜りたいと思います。

また、小児科医につきましては、野崎博先生が着任することになりました。

野崎先生につきましては、弘前大学医学部を卒業され、同大学や札幌医大の小児科教室に勤務され、その後、札幌徳洲会病院、また、函館協会病院などを経て、静仁会静内病院に勤務されておりました。本年1月に静内病院を退職され、2月1日から出張医ということで別海病院に勤務をいただいております。4月から常勤医として本格的に勤務をしていただくことになっております。

さらに、小児科医、外科医が各1名という過重な勤務体制を緩和させるために、自治医大系の地域医療振興協会から紹介をいただきまして、小児科医1名、外科医1名を出張医として派遣していただけるよう、現在、調整中でございます。

また、本年4月から出産時におけるリスクが高い初産婦の分娩につきましては、安全な治療態勢が整っている病院での分娩をお願いしておりましたが、小児科医、外科医の医師確保が整い、24時間態勢の万全な状況が確認された時点から、初産婦の分娩受け入れを再開したいと考えているところでございます。

以上、3点について報告をさせていただきたいと思います。

改めて、本日提案させていただきました議案につきまして御決定をいただきましたことに御礼を申し上げ、大変きょうはお忙しい中、長時間にわたって御審議をいただきましたことに心から感謝を申し上げまして、閉会のあいさつにかえさせていただきます。ありがとうございました。

議長（渡邊政吉君） なお、この後、本日4時から全員協議会を行いますので、議員各位は議場に御参集をお願いいたします。

町長を初め皆様、大変お疲れさまでございました。

上記は、地方自治法第 1 2 3 条の規定により会議の次第を記載したものである。

平成 年 月 日

署 名 者

別海町議会議長

議 員

議 員

議 員